



上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻

Graduate School of Applied Religious Studies
Graduate Program in Death and Life Studies
SOPHIA UNIVERSITY

2027

宗教文化の研究をもとに 現代の死生学的課題に実践的・臨床的に取り組む

上智大学にこれまで蓄積されてきた宗教や倫理に関わる学問領域とケア関係の学問領域、および現代社会の課題に対処する学問領域を総合的に結びつけ、日本における実践宗教学ならびに死生学の研究教育の中心的拠点を形成するとともに、上智大学の教育精神「For Others, With Others (他者のために、他者とともに)」を現代社会に展開すべく、2016年4月に「実践宗教学研究科死生学専攻」(修士課程)を開設しました。そして、その教育研究をさらに発展させるため、2018年4月に博士後期課程を設置しました。

実践宗教学研究科死生学専攻は、日本における実践宗教学や死生学の研究教育の向上を先導することを使命とし、この領域における学術的専門人材や、高度な専門性が求められる職業を担う人材を育成する、日本初の大学院として、重要な役割を担っていきます。

死を基点にして人間の生や社会のあり方を広く研究するのが、死生学という領域です。死生学は、神学、宗教学、哲学、倫理学、社会学、福祉学、医学、看護学、文学、芸術などの幅広い領域に関わります。さらに、生きる意味の喪失に苦しむ人々に対する臨床スピリチュアルケアの実践とその研究も、死生学の重要な柱となっています。死生学は、死から生を考え、より豊かな生を送ることができる社会を構築することを目指します。

従来、こうした死生学的課題を社会で担ってきた領域の一つが宗教でした。宗教が現代のグローバル化した社会が抱えるさまざまな課題に向き合うなかから生まれた新しい学問が実践宗教学です。心のケアや社会福祉事業、平和構築など、宗教が現代の公共空間において果たす役割を捉え直し、世俗的な価値観と宗教的・伝統的な価値観との関係を考察することで、現代の死生学的課題に対して実践的・臨床的に対応していくのが、実践宗教学の役割です。

学部卒業予定者、社会人等、年齢・職業などの区別なく多様な人材を受け入れています。また、博士前期課程では、2018年度から長期履修制度を導入しています。これは就業している学生の場合、2年間の学費で3年間在籍し、研究できる制度です。

■ 研究対象とする中心的な学問分野

現代社会の宗教的・思想的基盤について、批判的かつ建設的に研究するとともに、現代社会の新たな課題として取り組みが求められる以下3つの領域を「死生学的課題」と捉え、宗教・思想研究、応用倫理・死生観研究、臨床ケア実践に関する高度な研究を行います。

死生学的課題	研究対象
1. 宗教の公共性	宗教間対話・宗教協力、価値多元社会における宗教の社会的役割等
2. 死生観・生命倫理	いのち・平和・環境をめぐる価値観、医療現場・先端科学技術の倫理等
3. 臨床スピリチュアルケア	医療・看護・福祉・教育等におけるケア、心身観・生命観・世界観とケア実践、多様な死別や喪失に関わるケア

■ 養成する人材像

上述した3つの死生学的課題と呼応し、研究者養成・高度の専門性が求められる職業を担う人材の専門職業人養成の双方に力点を置く昼夜開講制大学院として教育研究を行います。スピリチュアリティを基盤としたケアの実践的対応能力を修得させたくうえで、以下のような人材を養成します。

死生学的課題	養成する人材像
1. 宗教の公共性	現代社会の諸問題に即して宗教・思想研究を進め、実践宗教学の基礎を深めて、研究者や教育者となる人材、さらに宗教間対話・協力の担い手となる人材
2. 死生観・生命倫理	多様な価値観を踏まえながら、生命や平和をめぐる実践倫理的な問題に取り組み、宗教・教育・医療・福祉・行政・国際協力等の現場で専門的知識に基づいて活動する人材
3. 臨床スピリチュアルケア	多様な価値観や宗教観の共存を前提とし、臨床・日常および有事の、諸領域における傾聴の実践およびその研究を行う人材

■ 修了後の進路

本研究科が研究対象とする3つの死生学的課題に照らして考えられる修了後の主な進路は、「研究者としての進学」に加えて以下のようになります。

死生学的課題	修了後の進路
1. 宗教の公共性	宗教の公共的な活動の専門家として、宗教団体・NPO・行政機関等での活動
2. 死生観・生命倫理	生命倫理・死生学専門職として医療・福祉・研究機関等での活動
3. 臨床スピリチュアルケア	チャプレン、臨床宗教師、スピリチュアルケア師、ヒューマンケア専門職等、理論・実践画面の裏づけを有するケアの担い手としての営み

■ 教員の主な研究テーマ (教員は2026年4月現在)

- 教授 浅見 昇吾 / ドイツの現代思想に基づく生命倫理の研究
葛西 賢太 / 依存症回復と宗教、傾聴・傾聴者養成の方法論とその国際比較
酒井 陽介 / 宗教心理学、キリスト教霊性と人間発達、臨床心理学(精神力動的アプローチ)
佐藤 啓介 / 現代宗教哲学、死者倫理、現代フランス哲学、AI時代における死生観
武田 なほみ / 生涯発達論、キリスト教信仰と人間形成
寺尾 寿芳 / 宗教哲学、死生学、近現代日本のカトリシズム
吉田 美和子 / ソマティック(身心)教育

博士前期課程 授業カリキュラム (2026年度)

科目区分	授業科目名	単位数	
必修科目	死生学研究法Ⅰ	2	
	死生学研究法Ⅱ	2	
	英語文献講読	2	
選択必修科目	第1群	宗教的人間論演習	2
		宗教史演習	2
		宗教と社会演習	2
	第2群	死生学演習	2
		生命倫理学演習	2
		医療人文学演習	2
	第3群	臨床スピリチュアルケア演習	2
		生涯発達論演習	2
		宗教的人間論研究	2
選択科目	比較宗教学	2	
	宗教史研究	2	
	宗教と社会研究	2	
	死生学研究	2	
	生命倫理学研究	2	
	臨床倫理学原論	2	
	臨床倫理学特論	2	
	実践宗教学研究Ⅰ	2	
	実践宗教学研究Ⅱ	2	
	臨床スピリチュアルケア研究	2	
	生涯発達論研究Ⅰ	2	
	生涯発達論研究Ⅱ	2	
	宗教と身体性	2	
	実践宗教学インターンシップAⅠ	1	
	実践宗教学インターンシップAⅡ	1	
	実践宗教学インターンシップBⅠ	1	
	実践宗教学インターンシップBⅡ	1	
	臨床集中実習AⅠ	2	
	臨床集中実習AⅡ	2	
	臨床集中実習BⅠ	2	
臨床集中実習BⅡ	2		
研究指導	—		

授与学位 修士(文学) 入学定員 10名

修了要件

必修科目6単位、選択必修科目6単位、選択科目から18単位以上(選択必修科目で6単位を超えて履修した単位を含む)、合計で30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、本研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

なお、他の研究科専攻が開講する授業科目を履修し、上限8単位まで修了要件に算入することができます。

■ 取得可能な資格

修了要件単位に含まれる科目の履修により、

- 一般社団法人日本スピリチュアルケア学会が認定する「スピリチュアルケア師」の受験資格
- 一般社団法人日本臨床宗教師会が認定する「認定臨床宗教師^(注)」の申請資格を取得することができます。

^(注)各宗教団体・寺社教会等に所属する、信徒の相談に応じる立場にある宗教者(聖職者)が対象となります。

博士後期課程 授業カリキュラム (2026年度)

科目区分	授業科目名	単位数
必修科目	実践宗教学コロキウムⅠ	1
	実践宗教学コロキウムⅡ	1
選択科目	死生学特殊研究Ⅰ	2
	死生学特殊研究Ⅱ	2
	宗教と社会特殊研究Ⅰ	2
	宗教と社会特殊研究Ⅱ	2
	生命倫理学特殊研究Ⅰ	2
	生命倫理学特殊研究Ⅱ	2
	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ	2
	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ	2
	生涯発達論特殊研究Ⅰ	2
	生涯発達論特殊研究Ⅱ	2
生涯発達論特殊研究Ⅲ	2	
実践宗教学特殊研究	2	
研究指導	—	

授与学位 博士(文学) 入学定員 3名

修了要件

必修科目2単位、選択科目4単位、合計6単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

■ 修了生の最近の主な研究テーマ(論文タイトル)

博士前期課程

▶近さが生む承認と消費
—メنز地下アイドル文化に見る(推す)関係の構造—

▶日本在住のルワンダ人のライフストーリー研究
—そのアイデンティティの形成における重要な要因について—

▶J.モルトマンの三位一体論におけるエキュメニカルな神学的営為
—東方神学の受容とその独自の発展—

▶従順と自由の狭間
—20世紀後半アメリカのカトリック教会に起こったカランの避妊論争—

▶宗教における信仰治療から社会に開かれた健康法へ
—世界救世教の「浄霊」と対比して、MOAインターナショナルの「岡田式浄化療法」を事例研究する—

▶川崎市南部におけるヒップホップ文化の形成と社会問題の表象
—参与観察とラッパーへのインタビューを通じて—

▶ライラの冒険(His Dark Materials)シリーズをケアの物語として読み解く

博士後期課程

▶患者の死の自己決定をめぐる患者・家族・医療者の相互理解の形成
—複線径路等至性モデリングによるプロセスの分析—

▶ジェンダーの視点から見た公式的な宗教間対話における代表制と構造的課題
—国際的な宗教間対話組織 Religions for Peace を事例に—

2027年度入試説明会

開催日	5月,6月,10月,11月頃に数回開催 ※毎回同内容です。	内容	実践宗教学研究科死生学専攻の理念、 カリキュラムの概要とその特徴、個別相談等
-----	----------------------------------	----	-------------------------------------------

2027年度入学試験日程 ※筆記試験と口述試験は同日実施となります

出願期間			筆記試験 口述試験	合格発表	入学手続締切	
9月入試	博士前期課程	WEB出願期限	2026年6月26日(金)~7月8日(水)	9/9(水)	9/25(金)	10/16(金)
		出願書類提出期限	2026年7月9日(木) 消印有効			
2月入試	博士後期課程 博士前期課程	WEB出願期限	2026年11月27日(金)~12月9日(水)	2027年 2/16(火)	2027年 3/1(月)	2027年 3/10(水)
		出願書類提出期限	2026年12月10日(木) 消印有効			

■入試説明会や入学試験についての詳細は、上智大学公式ホームページを参照してください。以下のURLから2027年度大学院入試に関連する情報入手できます。

https://adm.sophia.ac.jp/jpn/in_ad/



2026年度学費 ※2027年度の学費は、2026年7月に決定予定です。

(単位：円)	博士前期課程	長期履修制度 ※2 (博士前期課程対象)	博士後期課程	摘要
入学金 ※1	200,000	200,000	200,000	入学時のみ
在籍料	30,000	30,000	30,000	各学期
授業料	252,000	168,000	225,500	各学期
教育充実費	90,000	60,000	45,000	各学期
学生教育研究災害傷害保険料	1,400	2,100	2,100	入学時のみ
春学期	573,400	460,100	502,600	
秋学期	372,000	258,000	300,500	
1年分	945,400	718,100	803,100	

※1 上智大学、上智短期大学（現：上智大学短期大学部）、聖母大学を卒業（修了）した方の入学金については、

- 上智大学、上智短期大学（現：上智大学短期大学部）を卒業（修了）後、1年未満に入学した場合………全額免除
- 上智大学、上智短期大学（現：上智大学短期大学部）、聖母大学を卒業（修了）後、1年経過して入学した場合………半額免除

※2 博士前期課程長期履修制度の授業料及び教育充実費は、毎年、年額の3分の2となります。

※同窓会費（ソフィア会終身会費40,000円）は、最終年度での納入となります。

問い合わせ先

上智大学 SOPHIA UNIVERSITY

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

<https://www.sophia.ac.jp>

■ 入学試験に関すること

上智大学入学センター 大学院入試係

Tel (03) 3238-3517

■ 実践宗教学研究科死生学専攻の特徴、カリキュラム等に関すること

上智大学大学院実践宗教学研究科事務室

Tel (03) 3238-4699

Email shiseigaku-ofc@sophia.ac.jp



JR中央線・総武線/東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷」駅下車 徒歩5分